

令和2年度版 印西市環境白書の作成にあたって

「ひと まち 自然」が調和し、豊かで安心できる環境で暮らせるまち いんざい の実現に向けて



印西市は、里山に代表される豊かな自然と豊富な水資源に恵まれた田園風景が広がるとともに、都市機能が集積された千葉ニュータウン区域を有しており、現在、「第2次印西市環境基本計画」に掲げる目標年次(令和3年度)の将来都市像『「ひと まち 自然」が調和し 豊かで安心できる環境で暮らせるまち いんざい』の実現に向け取り組んでいるところでございます。

とりわけ、令和2年は、菅総理の所信表明において、「2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする」と述べられました。近年、特に注目が集まっている地球温暖化問題に対し、日本として最も新しく、かつ高い目標値であり、印西市においても経済、社会及び環境の側面から取り組みを行い、目標達成に寄与する必要があります。そこで、今回は特集記事として「持続可能な開発目標(SDGs)」を取り上げました。市民の皆様とともに生活行動改善に取り組むことにより、国の新たな目標及びSDGsの達成に繋げていければと考えております。

また、平成30年3月に策定した「第4次印西市庁内エコプラン」では、市の事務及び事業から排出される温室効果ガス排出量について、平成25年度比で令和4年度までに4%削減、令和12年度までに40%削減という削減目標を掲げており、公共施設の省エネ化や施設の統廃合・集約化等により、地球温暖化の防止を推進してまいります。

さらに、その他の環境施策の取り組みについても、環境基本計画に基づき、ごみの不法投棄対策、高度処理型合併処理浄化槽設置への補助金、有害鳥獣対策、ごみの減量化・資源化、自然環境保全意識の普及などの推進に努めるとともに、様々な環境問題の改善に努めてまいります。

この「令和2年度版 印西市環境白書」は、令和元年度における市の環境の現状と取り組みの進捗状況をとりまとめたものです。本市が環境基本計画に掲げる将来都市像を実現していくためには、市民、事業者の皆様のご協力が必要不可欠です。つきましては、本書を市民の皆様にご活用いただき、まずは市民一人ひとりが身近に出来ることから取り組んで行くことが大切であると考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

最後に、この「印西市環境白書」の作成にあたり、熱心にご審議いただいた「印西市環境審議会」並びに「印西市環境推進会議」の委員の皆様にご心から感謝を申し上げます。

令和3年3月 印西市長 板倉 正直

令和２年度版 印西市環境白書 目次

はじめに

1 印西市環境白書作成の趣旨	1
2 印西市環境基本計画	2
3 環境指標の達成状況	3
4 環境の現状と課題	7
5 環境審議会委員からの意見・提案	9
6 環境推進会議委員からの意見・提案	11

第１章 いんざい環境特集

特集 2020 持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）	14
--	----

第２章 基本目標の進捗状況

基本目標 1 緑や水辺が身近に感じられる、自然と共生するまちを目指して	
1-1 緑や水辺を守り育てよう	18
1-2 生きものと共存しよう	21
基本目標 2 安心・安全に暮らせる、環境に負荷を与えないまちを目指して	
2-1 生活環境に不安がないまちを目指そう	23
2-2 有害物質の排出・侵入を防ごう	28
基本目標 3 都市としての魅力があふれる、快適なまちを目指して	
3-1 快適で住みよいまちにしよう	30
3-2 歴史・文化が感じられるまちにしよう	34
基本目標 4 低炭素社会の構築に向けた、 地球環境に負荷を与えないまちを目指して	
4-1 地球にやさしいまちをつくろう	37
4-2 資源循環型のライフスタイルを実践しよう	40
基本目標 5 環境配慮行動の実践者を拡大し、 みんなで環境を育てるまちを目指して	
5-1 環境を考え行動をする人を育てよう	42
5-2 環境配慮行動の実践を促すしくみをつくろう	43

第3章 印西市庁内エコプランの進捗状況

1 印西市庁内エコプランの概要……………	46
2 エネルギー等使用量及び温室効果ガス排出量……………	48
3 取り組み実施状況……………	54

資料編

1 環境に関する統計データ……………	資料- 1
2 環境施策進捗状況調査結果……………	資料- 19
3 温室効果ガス排出量の算出方法……………	資料- 42
4 用語解説……………	資料- 45

この「令和2年度版 印西市環境白書」は、主に令和元年度の実績に基づき、作成しています。

